



株式会社 エフ・シー・シー

第96回 定時株主総会

2026年6月23日

URL : <https://www.fcc-net.co.jp/>

東証プライム 証券コード : 7296

報告事項



1

第96期事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および
監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

2

第96期計算書類報告の件

会議の目的事項

決議事項



第1号議案

定款一部変更の件

第2号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件

第3号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

議事の運営について

議事の進行

1

報告事項のご報告



2

議案の上程



3

報告事項に関する質疑・議案の審議



4

議案の採決



報告事項

企業集団の現況に関する事項

経済状況

米国の通商政策や
中国経済の先行き懸念

中東情勢の緊迫化や物価上昇等

先行き不透明な状況で推移

日本

緩やかな回復基調で推移

米国

堅調な拡大を維持

中国

緩やかに減速

アセアン

緩やかな回復基調で推移

インド

景気拡大が継続

自動車業界の状況

四輪



日本

新車販売は通期で前期比微減
EV販売が復調

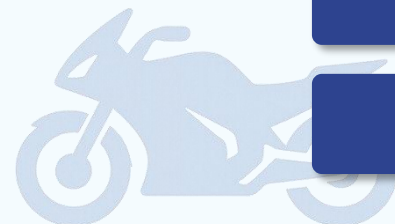
米国

回復基調も前期比微減
HEV比率は過去最高を更新

中国

新エネルギー車への需要シフトが顕著化

二輪



インド

更なる需要拡大

アセアン

堅調に推移

日本

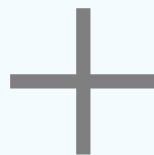
前期比微増

当社グループの取り組み

第12次中期経営計画の最終年度



経営基盤の強化に向けた
基幹クラッチ事業の収益最大化



EV/CASE領域や非モビリティ分野における
新事業開発



当期の業績



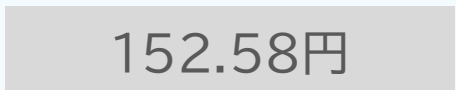
売上収益

2,608億36百万円

前期比1.6%増



2024年度

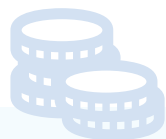


2025年度



為替レート
(1米ドル)

当期の業績



営業利益

189億27百万円

前期比9.2%増



173億
29百万円

189億
27百万円

2024年度

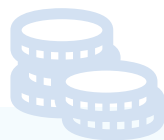
2025年度

152.58円

為替レート
(1米ドル)

150.78円

当期の業績



税引前当期利益

215億67百万円

前期比7.6%増

200億
52百万円



215億
67百万円

2024年度

2025年度

152.58円

為替レート
(1米ドル)

150.78円

当期の業績



親会社の所有者に
帰属する当期利益

187億60百万円

前期比18.3%増

158億
59百万円

187億
60百万円

2024年度

2025年度

152.58円

為替レート
(1米ドル)

150.78円

当期の業績



<売上収益>



非モビリティ

1億69百万円

構成比 0.1%

四輪

1,359億
75百万円

構成比 52.1%

モータコア



10速AT用クラッチ



二輪

1,246億
91百万円

構成比 47.8%

モータASSY



多板クラッチ



2025年度



二輪事業

二輪事業

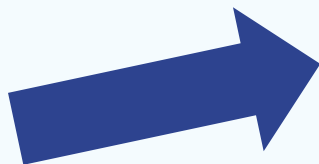


売上収益

1,246億91百万円

前期比3.6%増

1,204億
8百万円



1,246億
91百万円

2024年度

2025年度

二輪事業



営業利益

122億30百万円

前期比1.2%増

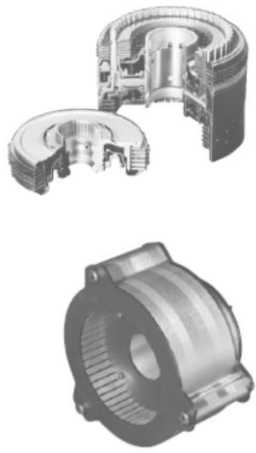
120億
83百万円

2024年度



122億
30百万円

2025年度



四輪事業

四輪事業



売上収益

1,359億75百万円

前期比0.1%減

1,361億
15百万円



1,359億
75百万円

2024年度

2025年度

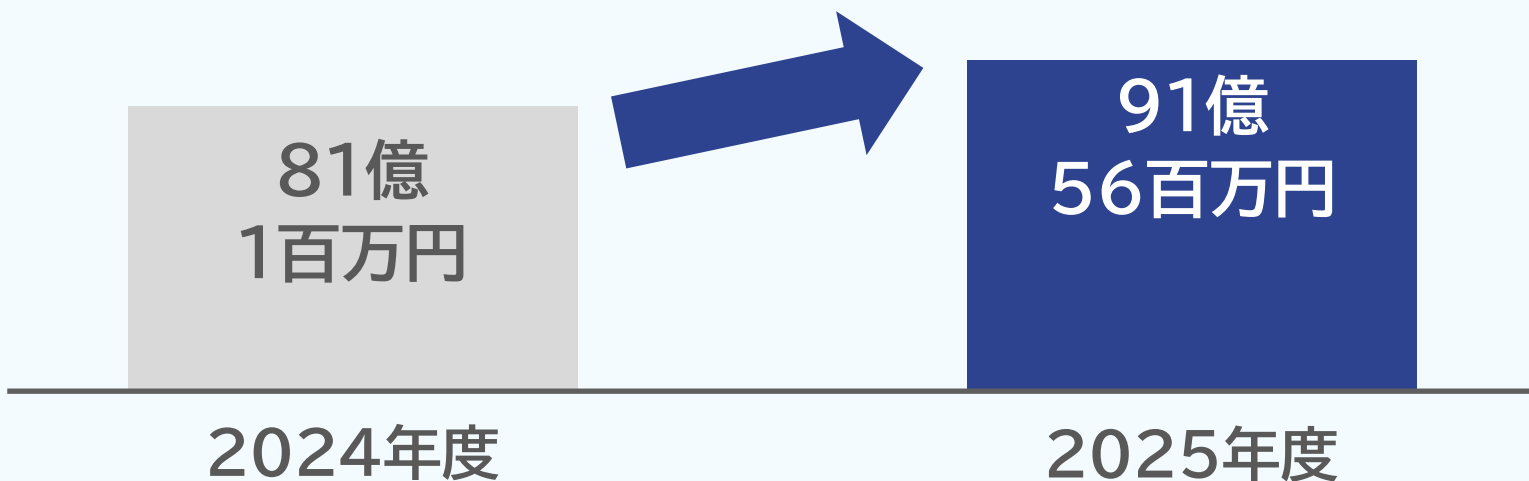
四輪事業

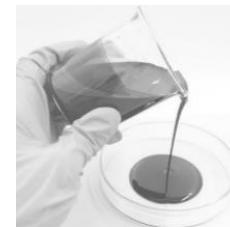
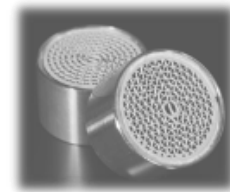


営業利益

91億56百万円

前期比13.0%増





非モビリティ事業

非モビリティ事業



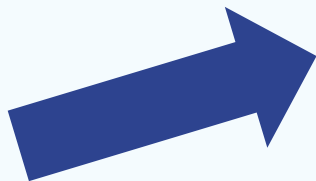
売上収益

1億69百万円

前期比79.1%増

94百万円

2024年度



1億69百万円

2025年度

非モビリティ事業



営業損益

△24億59百万円

△28億
55百万円

2024年度

△24億
59百万円

2025年度

設備投資の状況

設備投資の状況

設備投資額

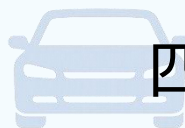
164億51百万円

設備投資の主な内容は
日本、アジアにおける新規事業および生産能力拡充等



二輪事業

67億48百万円



四輪事業

55億36百万円



非モビリティ事業

41億67百万円※

※オフィス兼開発センター投資37億57百万円が含まれています

対応すべき課題

FCCグループの目指す姿

VISION 2035

社会に求められる価値を生み出し続ける企業へ

— 目指す姿の達成に向けた事業別の取り組み

モビリティ事業



クリーンで安全な モビリティの実現

- 当社コア技術を活かし、電動化・低燃費に対応した製品開発
- グローバルネットワークを活かし、全世界へ製品を提供

環境エネルギー事業

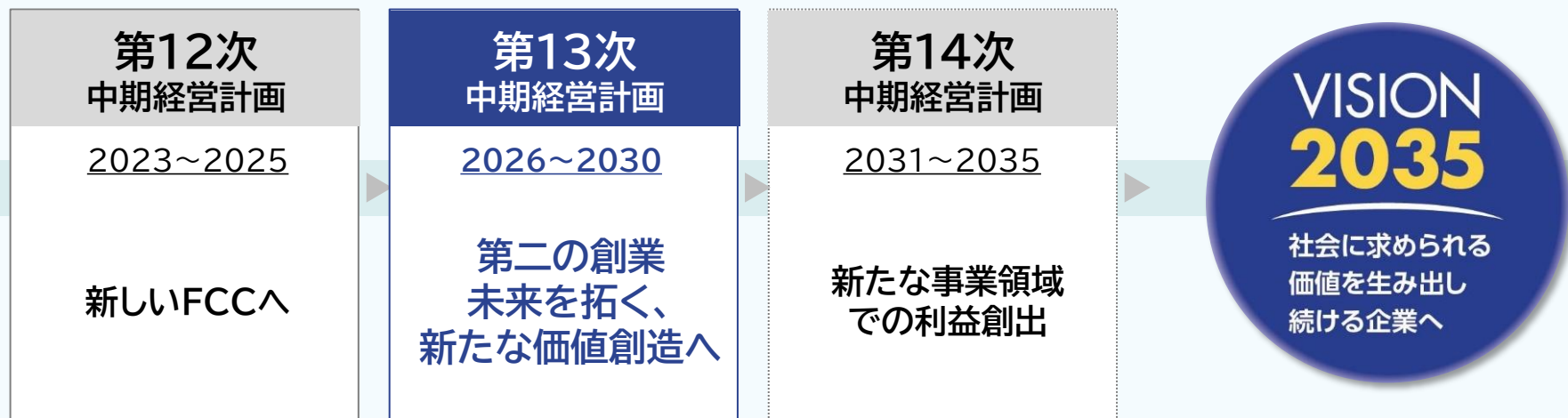
暮らしやすい 豊かな社会へ



- モビリティの枠を超えた領域でも社会課題解決に貢献

※第12次中計では「非モビリティ事業」の名称を第13次中計より変更

第13次中期経営計画の位置づけと基本方針



基本方針

1

高付加価値製品
の創出

2

戦略的投資の
積極活用

3

デジタル活用
による業務革新

4

人材育成と
組織力強化

重点戦略



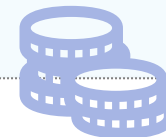
I. 事業戦略

基幹事業の収益力強化
新たな事業の柱の創出



II. 経営基盤強化

企業成長を支える
ゆるぎない
経営基盤の構築



III. 財務・資本戦略

持続的な企業価値向上
に向けた成長投資と
資本効率の改善

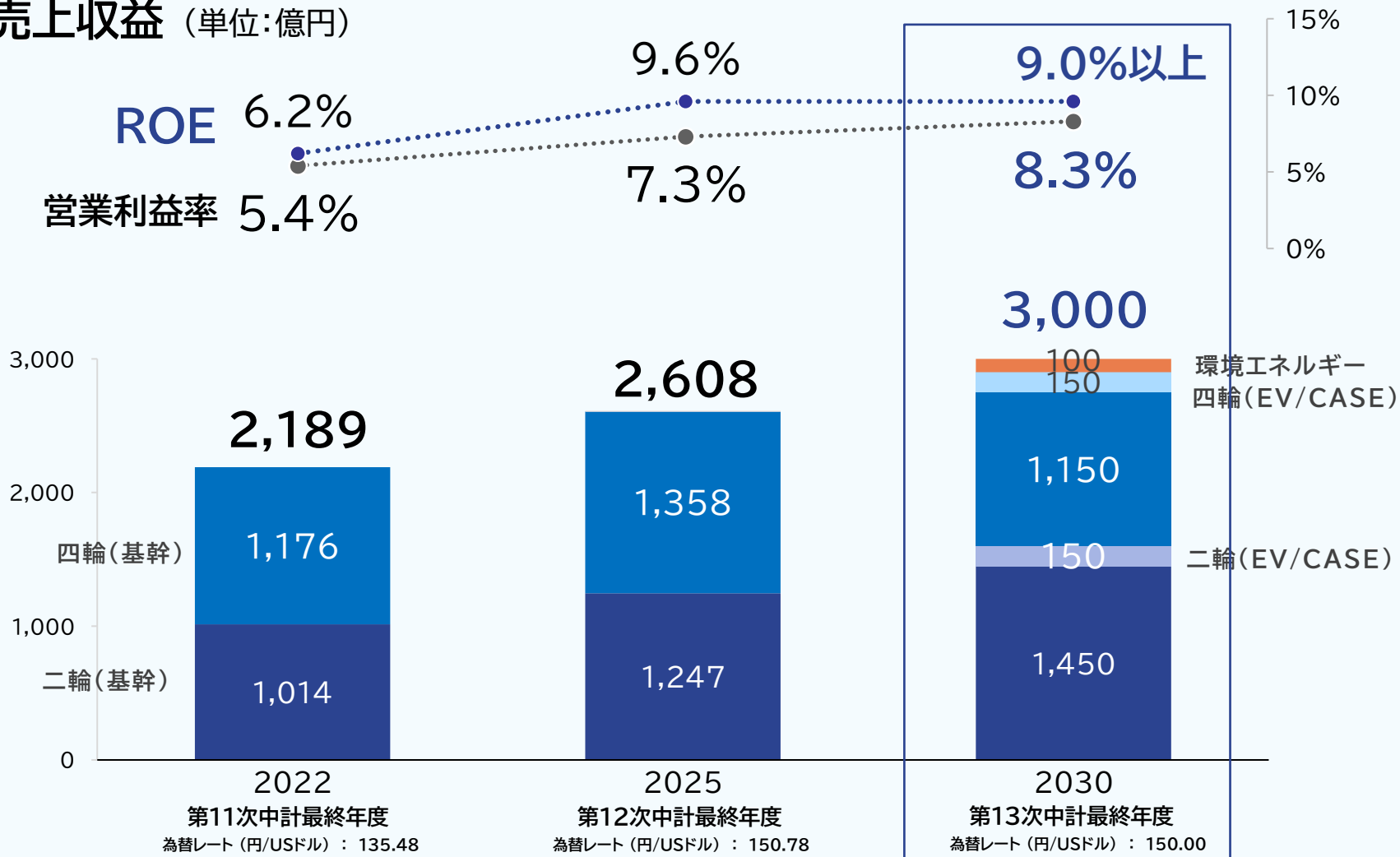


IV. サステナビリティ戦略

ESG経営の推進 E(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)

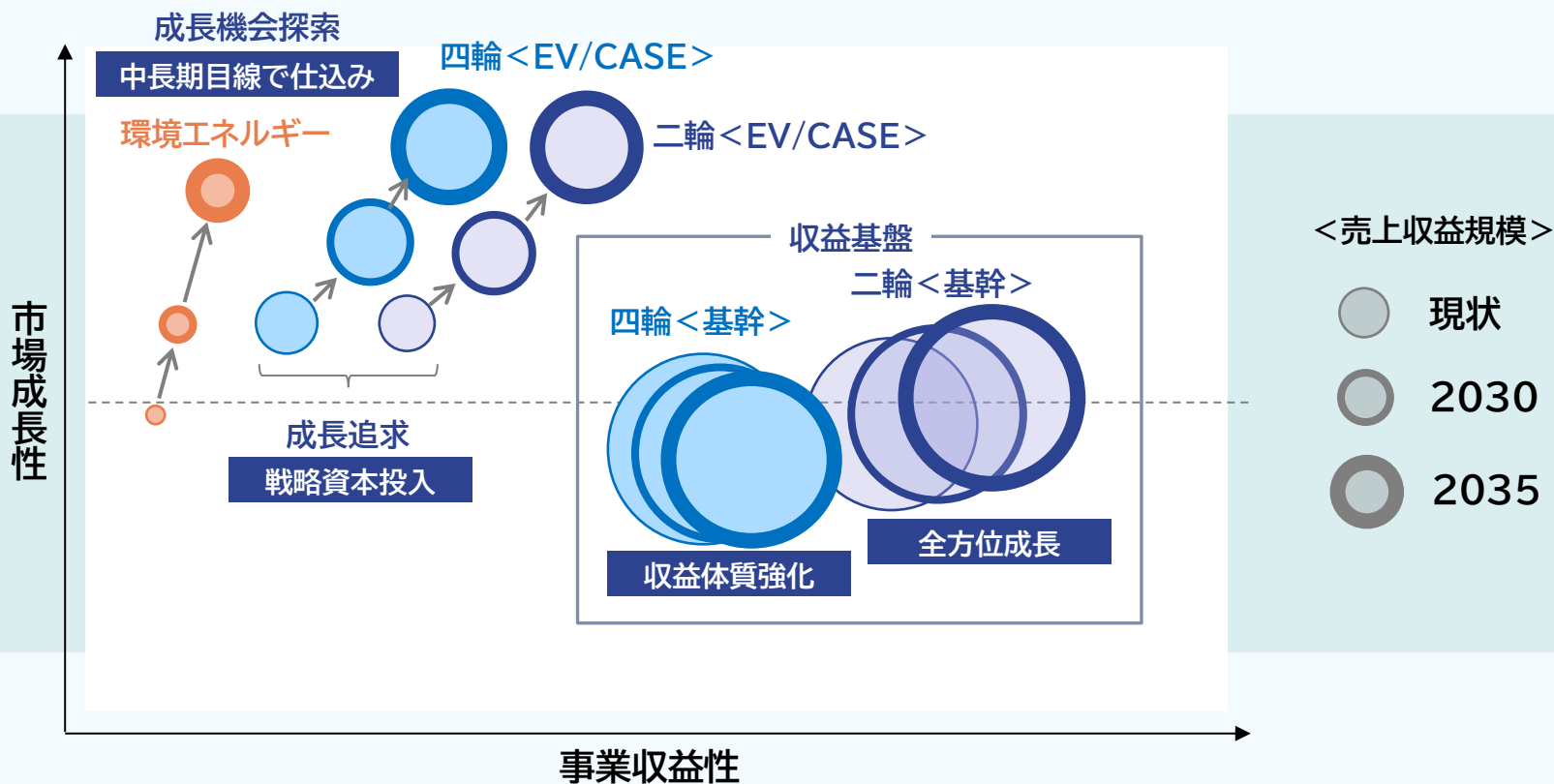
財務目標

売上収益 (単位:億円)



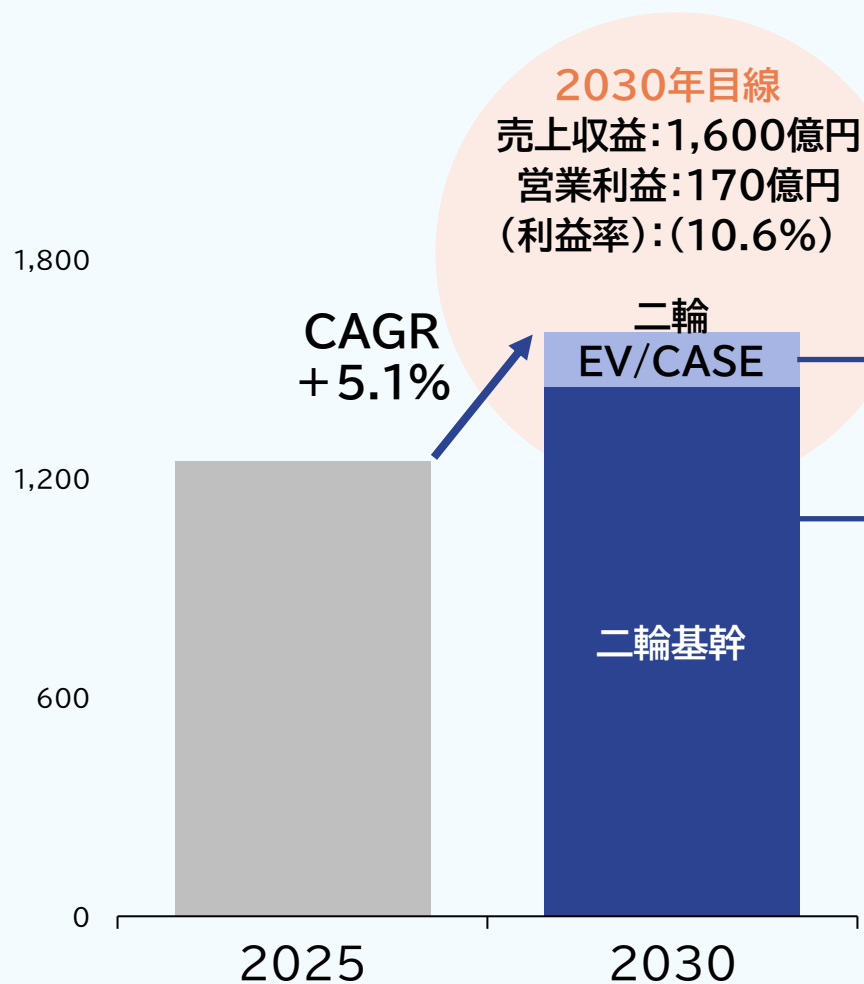
I. 事業戦略 目指すポートフォリオ

- 基幹クラッチ事業 ▶ 収益基盤として維持しつつ、他事業を強化
- EV/CASE事業 ▶ 戦略資本投入により成長を追求
- 環境エネルギー事業 ▶ 中長期的な目線で成長機会を探索



I. 事業戦略 二輪事業

二輪事業売上収益推移(億円)



戦略資本投入

次の電動化転換に対応可能な
強固な事業基盤を構築

- インド・アセアンを軸に拡大
- コネクテッドサービスの事業化
- 脱レアアース製品に向けた技術開発

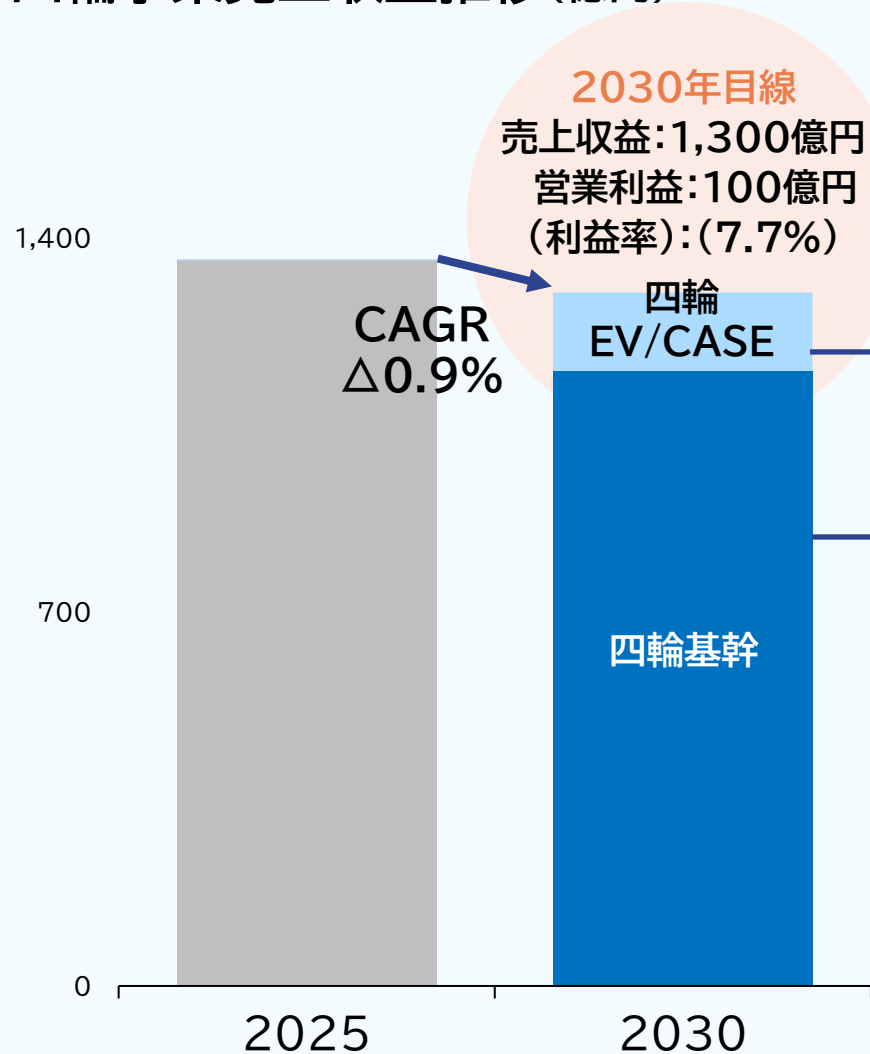
全方位成長

グローバル市場に全方位対応し、
圧倒的シェアを確保へ

- インドにおける開発機能を強化し、
ビジネス機会の拡大を図る
- 低燃費技術や高付加価値製品の投入

I. 事業戦略 四輪事業

四輪事業売上収益推移(億円)



戦略資本投入

事業化を加速、業容転換を推進

- モーターコア製品の拡大展開
- 熱マネジメント製品、アルミ、プレス、異材接合の技術を活かした事業拡大

収益体質強化

【北米地域】

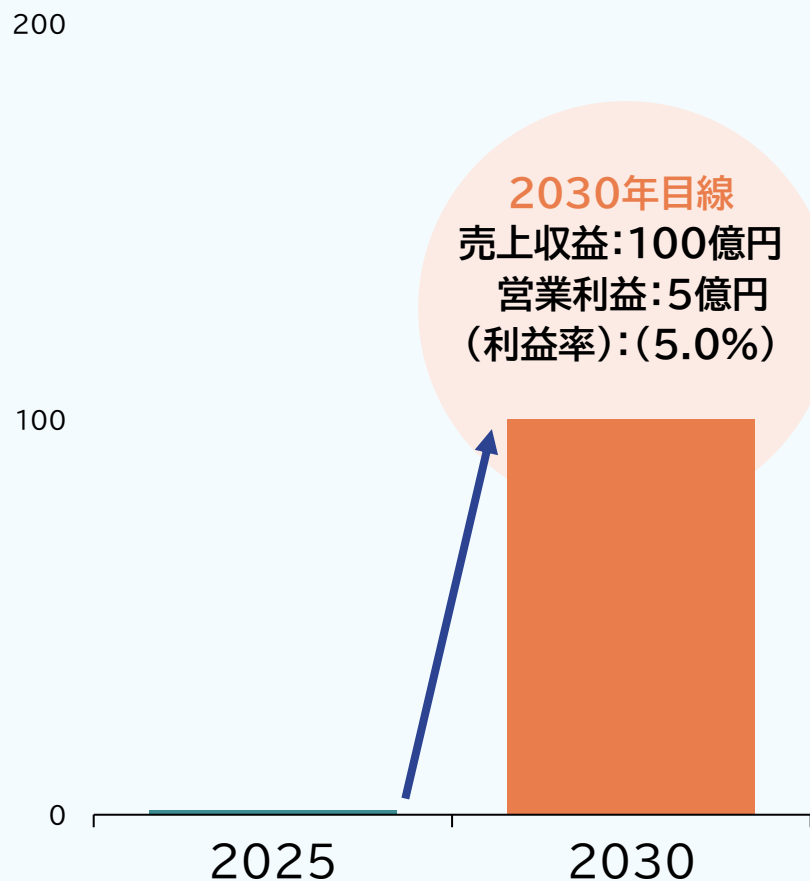
柔軟な生産体制構築で
収益力維持へ

【インド】

市場ニーズに対応し
四輪ビジネスの拡大へ

I. 事業戦略 環境エネルギー事業/非モビリティ領域

環境エネルギー事業売上収益推移 (億円)

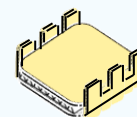


中長期目線で仕込み

- 社会課題解決に繋がる製品開発を加速
- 協業を含めた商品開発や販路拡大の推進



反応ソリューション領域



機能性シート領域



ナノマテリアル応用領域

Ⅱ. 経営基盤強化

将来の企業成長を支える経営基盤として、
3つのテーマに取り組む

1

開発基盤の整備

成長市場探索から
先端技術を
組み合わせた
新規ビジネス創出

知財戦略の強化

2

事業基盤の整備

重大品質不良の撲滅

生産体質向上

サプライチェーン
調達リスク管理

デジタル技術の活用と情
報リスク管理強化

3

人材力の向上

従業員の育成・
スキル向上

エンゲージメント向上

Ⅲ. 財務・資本戦略 PBRの改善

PBR改善に向けて、ROE・PER両面での向上を図る

PBRの改善

ROE向上

収益力向上

事業戦略と経営基盤の強化

株主還元

安定的・継続的な配当

(目標:配当性向50%またはDOE3.5%のいずれか高い方)

機動的な自己株式取得

(5か年で250億円設定)

PER向上

成長期待向上(期待感醸成)

株主・投資家の皆様に当社のご理解を得られるよう、積極的に発信

財務/非財務情報開示の拡充

成長ストーリーの積極開示(IR活動強化)

成長に向けた人的資本強化

Ⅲ. 財務・資本戦略

キャッシュアロケーション:5か年累計

キャッシュイン

借入等 200億円

営業CF
※研究開発費控除前
(営業CF+研究開発費)
1,900億円

手元資金
800億円

キャッシュアウト

成長投資
800億円

基幹事業投資
600億円

戦略投資
400億円

株主還元
700億円

手元資金

財務の健全性を維持しつつ、成長投資に資金を優先配分し、収益力強化と資本効率向上を図る

- 二輪・四輪におけるEV/CASE領域の拡大
- コア技術を活用したエネルギーソリューションや製品の開発等
- 中長期目線で社会課題に貢献する製品/ソリューション開発に仕込み

Ⅲ. 財務・資本戦略 株主還元の目標

<2025年度>

1株当たりの年間配当金

194円

配当性向

50.1%



<2026年度>

1株当たりの年間配当金

160円 (予想)

配当性向

50.8%

IV.サステナビリティ戦略

ESGにおける優先課題を特定し、その解決を通じて、モビリティ業界および新分野における価値創造を目指す

<課題>

<当社の取り組み内容>

E

環境

- ✓ 脱炭素社会の実現
- ✓ 循環型社会への貢献
- ✓ 自然環境と生物多様性の保護

- GHG排出量削減の目標達成
- サーキュラエコノミー関連製品化
- 環境保護活動の実践

S

社会

- ✓ 多様な人材の活躍
- ✓ 働いて良かったと思える会社の実現
- ✓ 人権保護

- 女性の活躍(女性管理職比率の向上)
- 男性育休率の向上
- 健康増進活動推進
- 人権デューデリジェンスの実践

G

ガバナンス

- ✓ 経営の透明性・健全性の確保
- ✓ 各国の法令順守
- ✓ ステークホルダーとの対話強化
- ✓ リスクマネジメント強化

- 社外取締役を核とした監視の強化
- 重大法令違反の監視と0件達成
- 対話の強化と経営層へのフィードバック実施
- サイバーセキュリティ教育の強化



株式会社 エフ・シー・シー

第96回定時株主総会

URL : <https://www.fcc-net.co.jp/>

東証プライム 証券コード : 7296

議案

提案の理由

取締役が付していた社長、専務、常務等の役付取締役としての役位については、**執行役員制度に基づく役位として整理し、取締役を兼務する者についても役位を設けず、一律に取締役と位置付ける体制へ移行する**

ものとしします。

本定款変更は、上記の体制変更を踏まえ、
現行定款第14条(招集権者および議長)、
第21条(代表取締役および役付取締役)、
第22条(取締役会の招集権者および議長)に所要の変更を行うものであります。

第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件

再任

斎藤 善敬

新任

茂原 敏成

新任

湊上 禎史

新任

長坂 三樹伸

再任

社外

独立

腰塚 國博

再任

社外

独立

小林 和徳

第3号議案

監査等委員である取締役4名選任の件

再任

坪井 彰

再任

社外

独立

山本 真由美

再任

社外

独立

河島 多恵

新任

社外

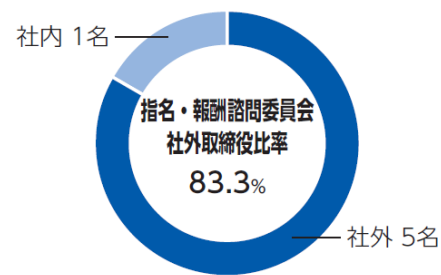
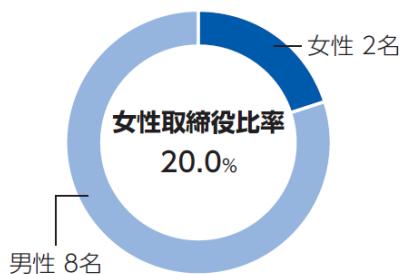
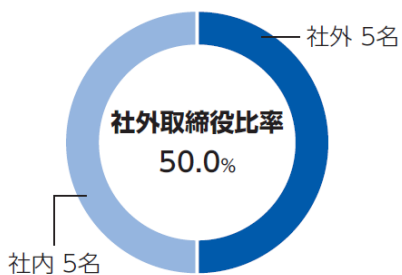
独立

柴山 和俊

株主総会後の取締役会の体制

氏名	地位	指名・報酬 諮問委員会	企業経営	製造/技術 研究開発	営業 マーケティング	事業開発 M&A	デジタル IT/ICT/DX	財務/会計	法務 コンプライアンス	グローバル 経験	サステ ナビリティ
さいとう よしたか 斎藤 善敬	代表取締役 社長執行役員	○	●		●	●	●		●	●	●
もはら としなり 茂原 敏成	取締役 常務執行役員		●	●		●				●	
ふちがみ よしふみ 淵上 禎史	取締役 常務執行役員		●	●	●	●				●	
ながさか みきのぶ 長坂三樹伸	取締役 上席執行役員		●					●			●
こしづか くにひろ 腰塚 國博	社外取締役	○	●	●		●	●			●	
こばやし かずのり 小林 和徳	社外取締役	○	●		●	●				●	●
つばい あきら 坪井 彰	取締役 常勤監査等委員		●	●					●	●	
やまもと まゆみ 山本真由美	社外取締役 監査等委員	○						●			
かわしま たえ 河島 多恵	社外取締役 監査等委員	○							●		
しばやま かずとし 柴山 和俊	社外取締役 監査等委員	○						●			

(注) 各取締役の全ての知見や経験を表すものではありません。



事前質問

自己株TOBについて

TOBが発表されているが、今後上場廃止の予定は？
なぜTOBするのか？

- 上場維持前提（信用力・人材確保のメリット）
- 資本効率(ROE)や株主還元が重要経営課題
 - ①従来より自己株取得を機動的な実行を検討
 - ②特定株主の売却意向、市場放出による市場価格の影響
 - ③公平性・透明性の観点、資本効率を踏まえ手法を検討

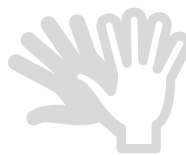
自己株TOBにより
資本効率の向上、株主の皆様の利益還元

報告事項に関する 質疑・議案の審議

質疑

ご発言は、以下にてお願い申し上げます

ご挙手



議長指名後、入場票番号をご発言



一度の挙手で、一件



議案の採決

議案

第1号議案

定款一部変更の件

議案

第2号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く。)

6名選任の件

議案

第3号議案

監査等委員である取締役4名選任の件



株式会社 エフ・シー・シー

第96回定時株主総会

URL : <https://www.fcc-net.co.jp/>

東証プライム 証券コード : 7296